

人材確保に向けた 魅力ある職場づくりのために※

佐賀県の若者を取り巻く状況

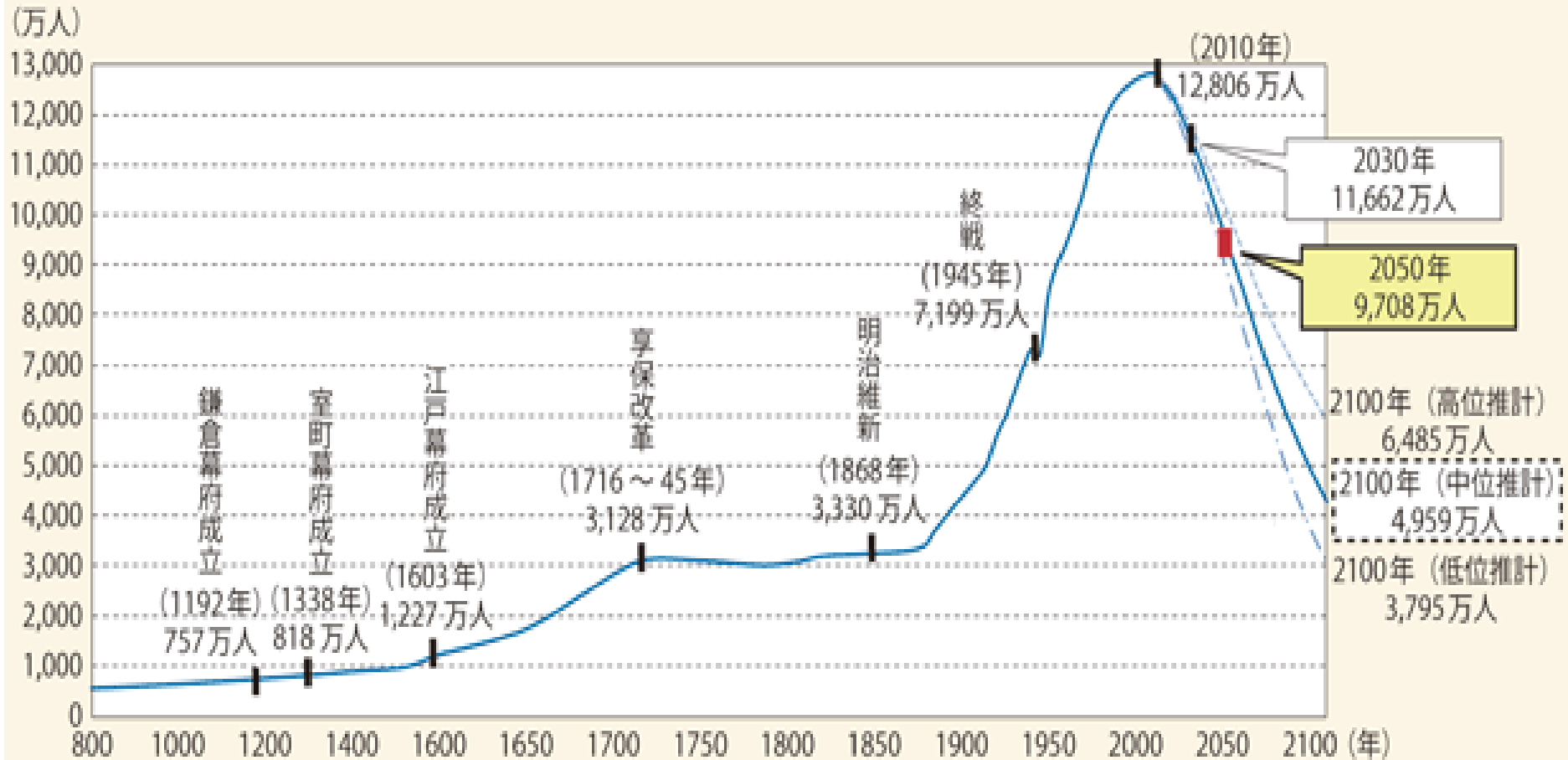
- ◆ **佐賀県の労働力人口**は既に減少に転じており、**今後も減少**すると見込まれます。（P 2～4）
- ◆ 新規高卒者の就職状況を見ると、**県外就職率が約40%**という状況です。（P 5）
- ◆ 佐賀県の**新規高卒者の初任給**を見ると、男女とも、**福岡県より1万円前後少なく**、全国とはもっと差があります。（P 6～8）
- ◆ 新規学卒者の**3年以内離職率**を見ると、**大卒で30%**を超えており、**高卒は**少しずつ改善が進んでいますが**40%**に近い数値となっています。（P 9）
- ◆ 若年者の**離職理由**は「**仕事上のストレス**が大きい」「**労働時間が長い**」「**職場の人間関係**が辛い」「**給与に不満**」などが挙げられている。（P 10）

※ この資料は、公労使の代表等で構成する「佐賀県魅力ある職場づくり推進会議」を経て、啓発用に作成された資料です（平成29年3月）。



日本の人口の長期推移

- 日本の歴史上、これほど急激な人口減少を経験することはない。

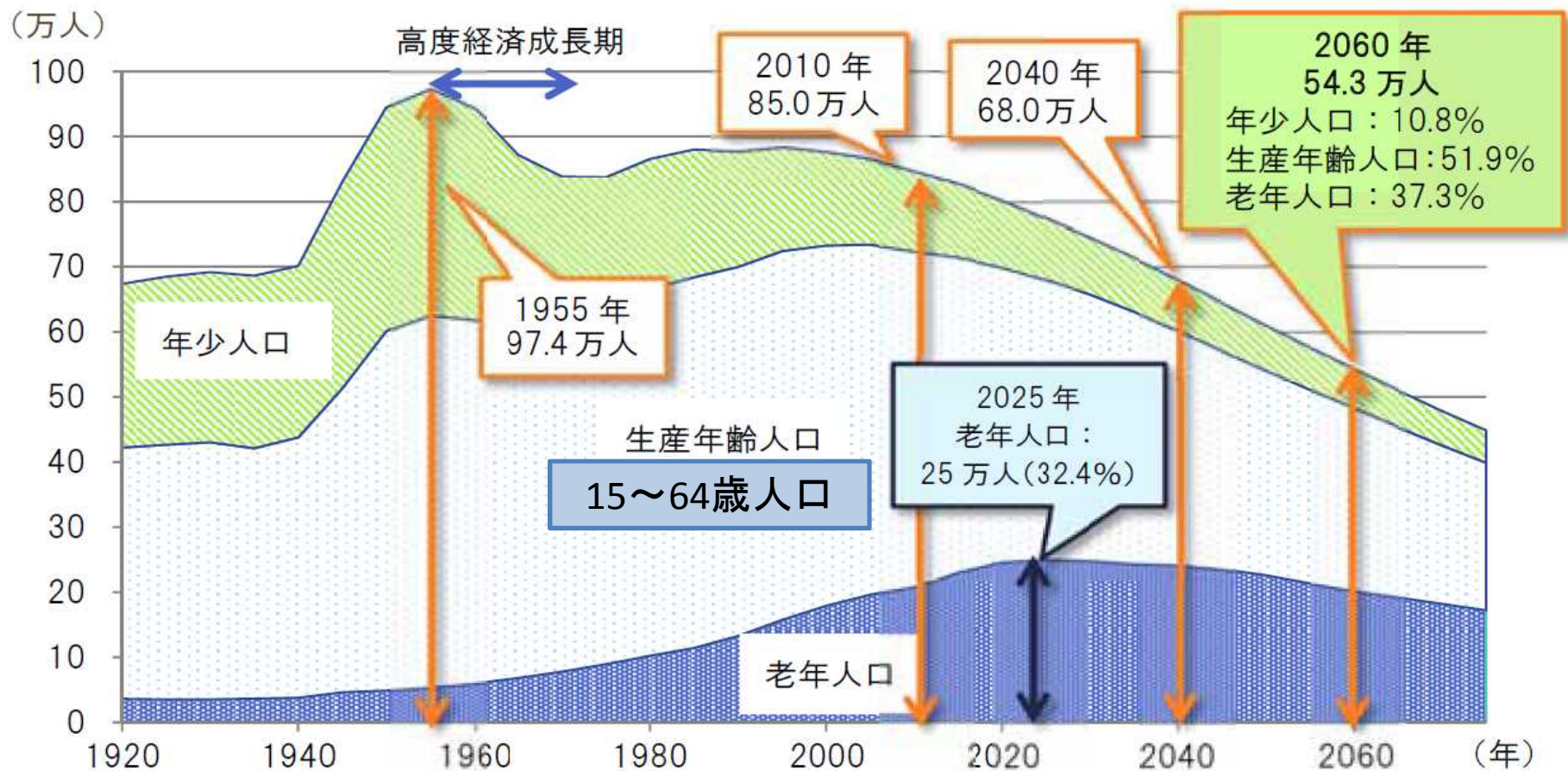


資料) 2010年以前は総務省「国勢調査」、同「平成22年国勢調査人口等基本集計」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (2012年1月推計)」より国土交通省作成

(平成24年度国土交通白書より)



佐賀県の総人口、年齢3区分別人口の推移と将来推計



出典：総務省「国勢調査」（1920-2010）

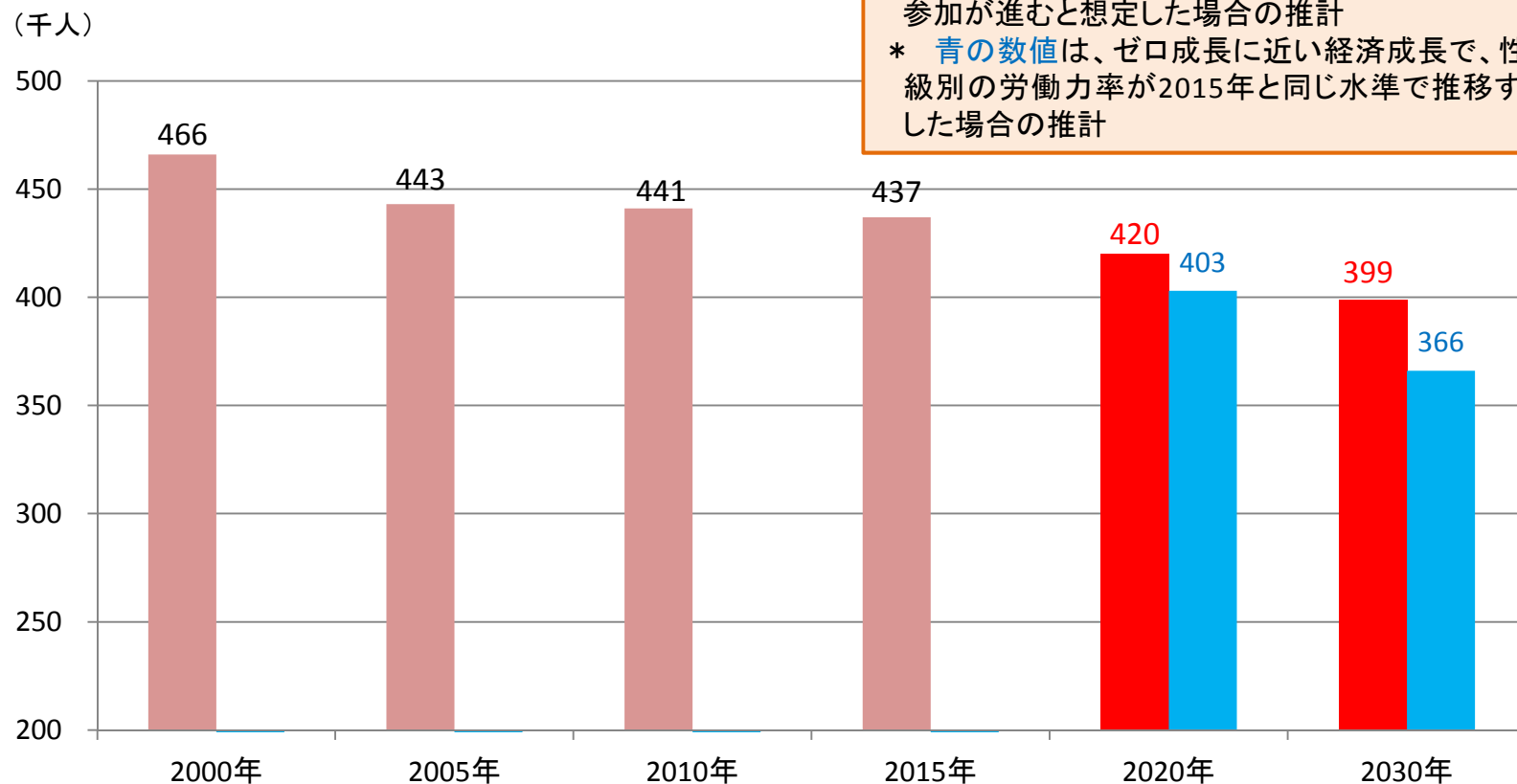
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2013年（平成25年）3月推計）」

（注）2041年以降は、国立社会保障・人口問題研究所公表資料を基に佐賀県試算

資料出所：佐賀県作成「佐賀県における人口の将来推計（佐賀県人口ビジョン）」より

佐賀県の労働力人口の推移

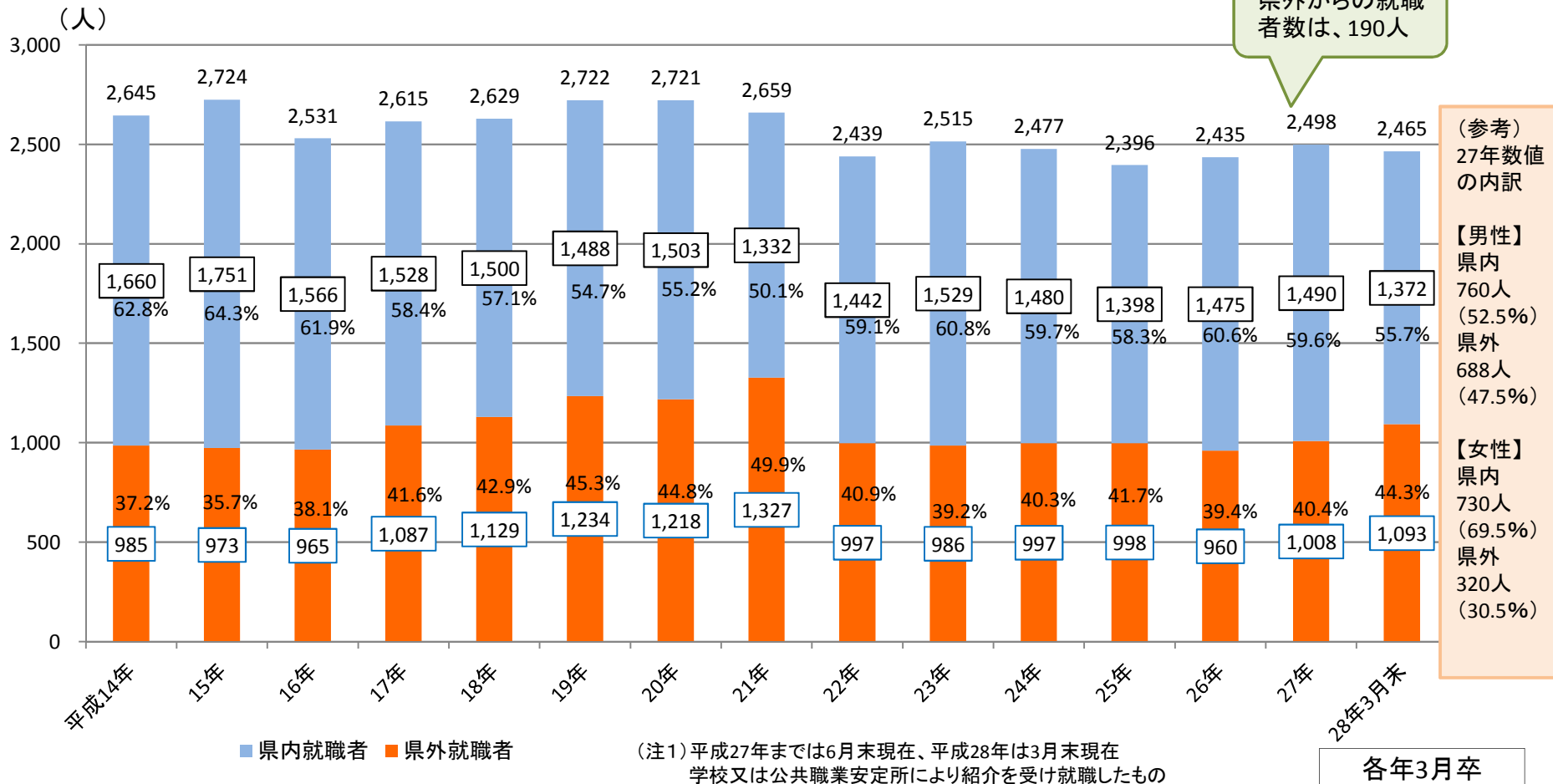
○ 佐賀県の労働力人口は既に減少しており、**今後も減少の見込み**



出典： 2000、2005、2010、2015年は 総務省統計局「労働力調査」、
2020年、2030年は JILPT(独)労働政策研究・研修機構の推計

新規高卒者の県内・県外別就職状況

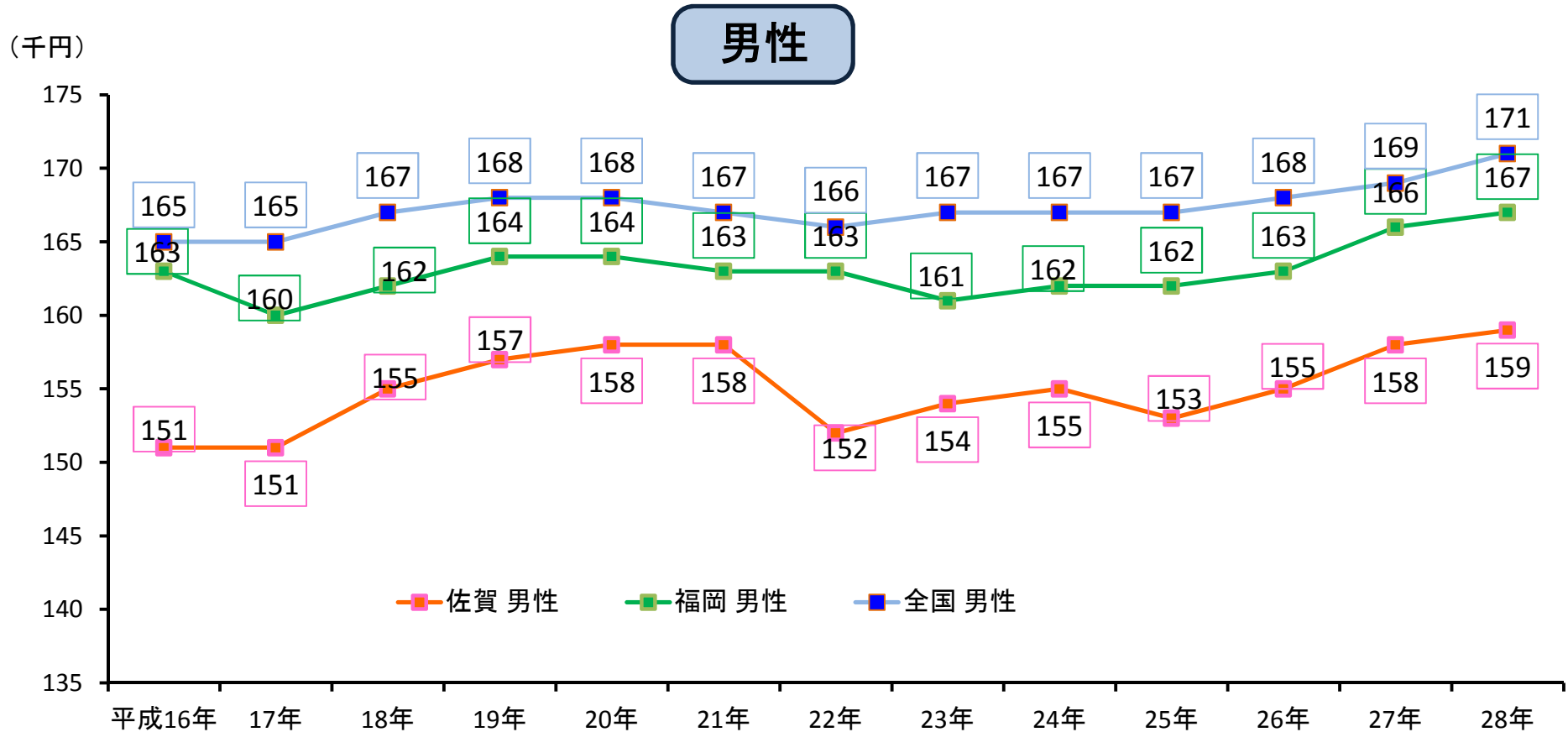
新規高卒者の県外就職は約4割



出典：厚生労働省職業安定局資料

新規高卒者の初任給情報（佐賀県・福岡県・全国）

○ 佐賀県内の男性は、福岡県と比べて8千円、全国と比べて1万2千円少ない状況



資料出所：厚生労働省職業安定局労働市場センター業務室「新規学卒者初任給情報」
 ※厚生労働省が所掌する雇用保険被保険者の記録（雇用保険被保険者資格取得届）をもとに算出

各年3月卒